

**第1学期★中間考査に向けて****今の努力は、未来の自分への◆プ◆レ◆ゼ◆ン◆ト◆**

これからの社会では、**教科での学力と共に、「生きる力」をバランスよく育てることが大切**とされています。具体的には、自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断、行動し、よりよく問題を解決する能力を育てることが必要とされてきています。理数科では、「科学と工学」「課題研究」「サイエンスキャンプ」等をはじめとする多くの授業や行事に取り組む機会に恵まれています。充実した探究活動の中で、一人一人がじっくりと考え、仲間たちと話し合う場面も多く設けられ、課題発見・解決力やコミュニケーション力等を育てることができます。また、自ら課題を解決して得られた成果を校外で発表することによって、プレゼンテーション力の育成にも力を入れています。昨年度、理数科全学年で、110名が**校外及び大小を問わずに発表した回数は、一人当たり平均3.6回**になります。発表の中では、大学教授や他校の先生や生徒を前に発表し質疑応答を行っています。これらの経験は、**将来の進路実現においても、大きな力となった**と多くの先輩が語る程です。

進路実現のために、今君に何ができるのか

しかし、折角身に付け鍛えてきた「生きる力」を大いに生かすためにも、教科の学力を強化することも大切になってきます。大学の一般入試で必要になることは勿論のこと、推薦入試でも、理系学部では教科の試験が課されたり、口頭試問で教科の内容が問われたりする場合があります。また、出願候補となる資格として、高校3年間の教科の成績が基準を超えることが必要になることがほとんどです。1年生や2年生は、まだ大学入試のイメージが見えてきてないと思いますが、今からの頑張りがとても大切です。3年生も、1回1回の考査がとても大きな意味を持つことを意識してください。どの学年も、しっかりと勉強をしてテストに臨みましょう。そして、その取り組みを証明するような提出物を必ず提出してほしいと思います。

科学コンテスト等へ積極的な挑戦を！

昨年度、全国で3,565名が挑戦した化学グランプリで、理数科の先輩が、県の予選（一次選考）を通過して、全国の代表70名（中国地方で4人、岡山県内でただ1人）に選ばれました。そして、名古屋大学で行われた全国大会（二次選考）では、銅賞を獲得しました。思考力を問われる問題が出題される中で、これに真っ向から挑戦した経験が、難問にも楽しんで取り組む姿勢と解答力を磨くきっかけとなったようです。この活躍は、化学系の大学教授の方々にも届いていたようです。

募集！

■物理チャレンジ2016■ 募集期間：4月1日（金）～5月23日（月）
（第1チャレンジ）実験レポート：6月17日（金）まで、
理論コンテスト：7月10日（日）マーク式
（第2チャレンジ）8月19日（金）～22日（月）

■日本生物学オリンピック■ 募集期間：4月1日（金）～5月31日（火）
（予選）7月17日（日）マーク式 （本選）8月19日（金）～22日（月）

■化学グランプリ2016■ 募集期間：4月1日（金）～6月8日（水）
（一次選考）7月18日（月・祝日）マーク式
（二次選考）8月19日（金）～20日（土）

■日本数学オリンピック■ 募集期間：6月1日（水）～9月30日（金）
（予選）1月9日（月・祝日） （本選）2月11日（土・祝日）



【昨年度】
化学グランプリ2015
●全国大会 銅賞●

表彰式が行われた
名古屋大学の
野依記念学術交流館
の前で